

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年7月13日

【評価実施概要】

事業所番号	0175900067		
法人名	有限会社 長建寄り逢い長崎		
事業所名	グループホーム 夕張サザンクロス		
所在地	北海道夕張市清水沢1丁目60 (電話) 0123-59-7639		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年7月12日	評価確定日	平成21年7月14日

【情報提供票より】(平成21年4月18日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年9月30日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	5人	常勤	4人, 非常勤 1人, 常勤換算 2.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,810~62,970円	その他の経費(月額)	7,500~15,000円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	570円		

(4) 利用者の概要(4月18日現在)

利用者人数	6名	男性	3名	女性	3名
要介護1	1名	要介護2	3名		
要介護3	1名	要介護4			
要介護5	1名	要支援2			
年齢	平均 86歳	最低	81歳	最高	91歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	夕張市立診療所、栗山赤十字病院、長沼町立病院
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

夕張消防団員の活動や老人会、自治会活動など地域との交流を積極的に行い、日ごろより行政と連携してケアサービスの質の向上に取り組んでいる1ユニットのグループホームです。庭には、犬が飼われていたり、共用のリビングには小鳥が飼われて癒しに繋がって一人ひとりの思いや希望が尊重されています。また、財政破綻した夕張市にあって決して医療面では恵まれていないが、利用者の健康面には注意がはらわれて近隣市町村への定期受診や緊急への対応が行われています。職員のスキルアップには、段階に応じて薬の目的や副作用、実際のケアの場面での事例など社内試験の実施やその後の報告書の提出など働きながら学べる取り組みも行われています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、運営推進会議の定期的な開催が課題として挙げられていましたが、夕張市職員や包括支援センター職員などが委員となって参加し、事業所の取り組みなど話し合わせケアサービスの質の向上に活かされています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価及び外部評価を実施する意義を理解して、ミーティング等を通じて管理者、職員で共有しています。また、評価を通じて課題を明確にして、ケアサービスの向上に利用されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、定期的開催され主な議題については ホームの利用状況について ホームの年間行事予定について 火災避難訓練、避難誘導訓練について 地域貢献の活動について ホームへの意見、要望、助言について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族等の来訪時には、意見や苦情、不安な点など話し合わせ、そこでの意見が運営に反映されるよう取り組んでいます。また、利用料金を低く抑える取り組みや食材の購入に工夫して食費も安価に抑えて負担を軽減するよう努めたり、家族の経済状況や利用者の特殊事情などからグループホーム内で葬儀も執り行われています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の活動への参加や地元の人々との交流に努めて、夕張消防団員の活動や自治会活動、老人会など積極的に参加したり、公衆トイレの支援やホームを地域に開放してホームの機能を地域で利用できることへの取り組み、地元商店から日用生活用品等を買入れるなど地域への貢献に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者・職員は、日々のミーティングを通じて理念を共有し、その実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の活動への参加や地元の人々との交流に努めて、夕張消防団員の活動や自治会活動、老人会など積極的に参加したり、公衆トイレの支援やホームを地域に開放してホームの機能を地域で利用できることへの取り組み、地元商店から日用生活用品等を買入れるなど地域への貢献に取り組んでいる。		長崎でグループホームを開設している総合施設長は、夕張市訪問の際にこの地に惚れ込みグループホームを開設し、夕張市の財政破綻の折には住居を移転して地域に貢献している。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価を実施する意義を理解して、ミーティング等を通じて管理者、職員で共有している。また、評価を通じて課題を明確にして、ケアサービスの向上に利用されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、定期的実施され具体的に取組まれている。委員は、夕張市職員、包括支援センター職員、町内会役員、老人会会長、利用者、家族、法人代表者及び管理者で構成されている。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者及び包括支援センター職員とは、連携を十分に取ながらサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の経済状況や利用者の特殊事情を苦慮した取り組みや金銭管理の報告をしている。また、家族の来訪時や電話連絡などで日常生活の様子や利用者の健康状態、状態変化、定期的な写真の送付などで報告されている。		特筆すべき点として、財政破綻した夕張市にあって決して医療面では恵まれていないが、利用者の健康面には注意がはらわれて近隣市町村への定期受診や緊急への対応が行われている。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議での意見交換や来訪時に家族との話し合い、日常生活の様子など報告が日常的に行われています。また、苦情や不満など言い表せる機会も設けられている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修を受ける機会の確保や、個々の職員の段階に応じて薬の目的や副作用、用法や用量、実際のケアの場面での事例など社内試験やその後の理解度を確かめる報告書の提出でスキルアップの向上に取り組んでいる。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域に同業者は少ないが、他施設（高齢者福祉施設、同業者など）との交流や情報交換、医療機関などと地域のケアサービスについて話し合われ取り組まれている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	総合施設長・管理者・職員は、本人を介護される一方の立場におかず、利用者の尊厳を尊重しながら本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや意向の把握に取り組み散歩やドライブなど外出やカラオケなどの趣味への支援など本人本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、ケア方針に沿って介護計画は作成されて医師からの助言、職員からの意見を取り入れ具体的になっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、状態変化に応じて随時見直しを実施し、現状に即した介護計画の作成が行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々要望に応じて、近隣市町村への通院の支援など適切な医療が受けられるように支援されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	健康状態や状態変化など報告されて受診にも対応され、適切な医療を受けられるように本人本位に支援が行われている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について早い段階から本人・家族の意志が確認され、全員で方針が共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録の扱いをしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、利用者の希望や思いを把握して、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら支援している。また、果物や牛乳、野菜を多く取り入れるなど栄養バランスにも気が使われている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、ゆっくりと入浴が楽しめるように工夫され週3回を目安に支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら花見や盆踊り、花火見物など気晴らしの支援が行われている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	年を追うごとに外出を嫌うようになってきているが、散歩、花見や温泉入浴、花火見物、よさこい見物など戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、鍵をかけることの弊害を理解しており、玄関、居室には、鍵をかけずに自由に入出入りが可能となっており、家族や見学者などいつでも来訪できる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	総合施設長は、消防団に所属し、実技を伴う火災避難訓練や救急救命訓練が実施されている。また、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な食事や水分の摂取量、栄養バランスが把握され一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	民家を改築して、家庭的雰囲気運営されているグループホームでは、庭に犬が飼われていたり、共用のリビングには小鳥が飼われて癒しに繋がって一人ひとりの思いや希望が尊重されています。敷地は、広く夏には野外でのジンギスカンや食事、畑もつくられ楽しみごととなっている。		特筆すべき点として、閉鎖になった公衆トイレへの再開の支援やホームを開放してトイレを利用できるようにするなどホーム機能を地域に還元している。
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、本人や家族と相談しながら、仏壇やテレビ、使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。